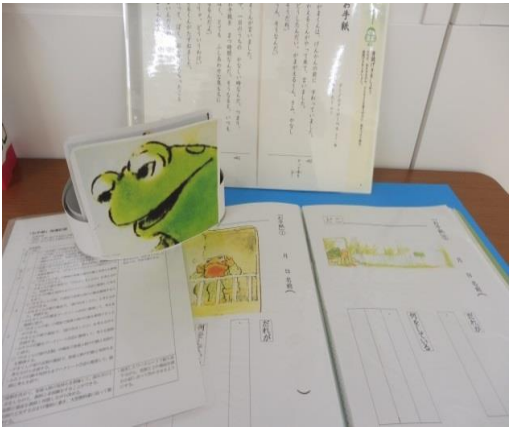
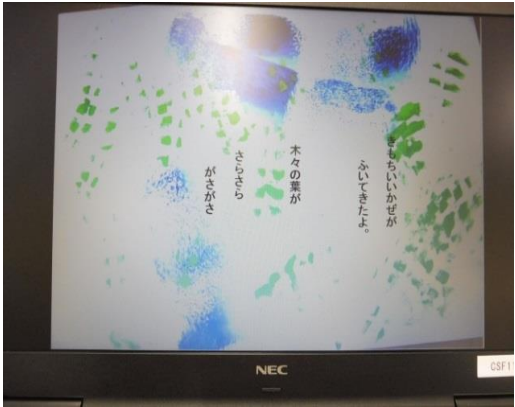
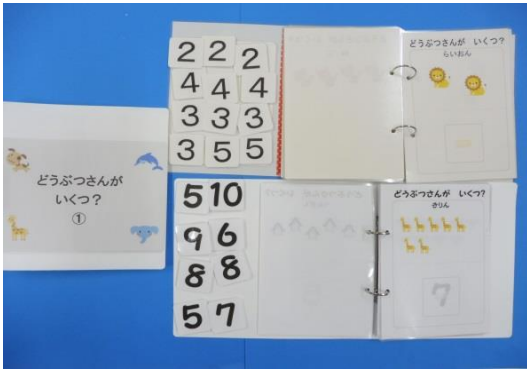
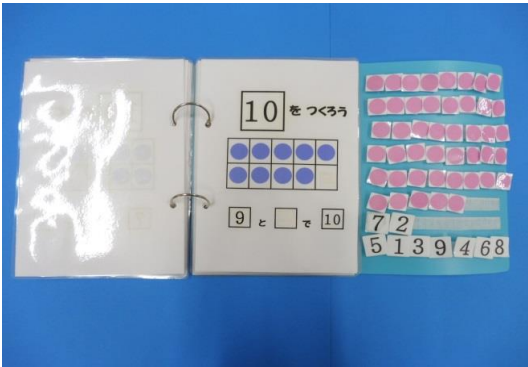


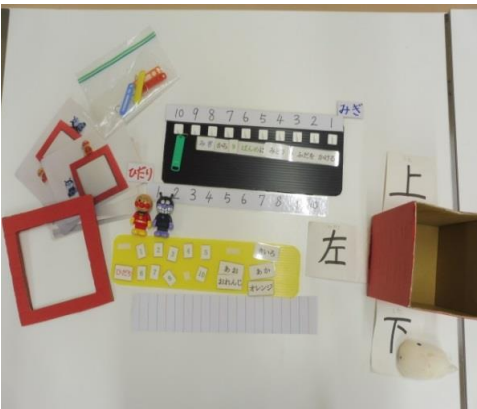
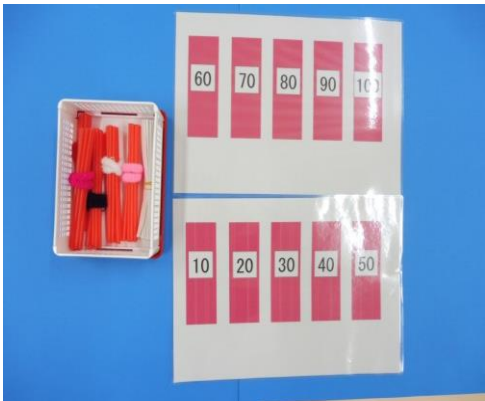
番号	教材教具名	教材教具の写真①	使用目的・使用方法等(展示カード)	教科領域等	学部
1	ひとりでよみかきはさみ		〈ねらい〉 「くもんのひらがなさいころつみき」が一人で遊べるようになるまでの補助教材です。 〈使用法〉 ①点線にそってハサミで切り取り、カードにする。 ②絵にあてはまる文字をひらがなシールから選んでマスの中に貼る。 ③上から四分の一を折り返すと解答が出てくるので、答え合わせをする。まちがえていたら解答を見ながら貼りなおす。 ④答えをえんぴつでなぞり書きする。 最小限の支援でひらがな学習ができるように考えました。慣れてきたら絵の横のひらがなを消したバージョンで学習します。	国語	中学部
2	「お手紙」個別指導用ワークシート		〈ねらい〉 国語二年下の教科書にある物語文「お手紙」を学習するためのワークシートです。刺激の整理ができにくい子に、それぞれ場面での登場人物の動きや、心情を理解するのを促します。 〈使用方法〉 ・さし絵1つにつき1枚のプリントにして「どの場面(どこ)で」「だれが」「どうした」を整理するために使います。 ・心情は、わかりにくいので、3～4枚の選択カードの中から考えさせました。	国語	中学部 支援部

3	オノマトペ絵本 (絵本・パソコン教材)		〈ねらい〉 絵本や擬音語、擬声語に興味をもつことができます。 〈使用方法〉 中学部の生徒に読書週間の読み聞かせの時に活用しました。オノマトペとは、擬音語、擬声語のことです。「雨」の絵本の動画を見せながら、雨の音を想像してもらいました。画面を見ながら、「バシャバシャ」や「ザーザー」など雨の音を想像して、自由に発言していました。文章理解が難しい生徒でも音には、興味をもち、想像を膨らませることができるようです。	国語	中学部
4	ことば遊び(音韻認識)		〈ねらい〉 遊びながら、音韻認識を高めます。 〈使用方法〉 グッズ1: 公文などの絵カードに、音韻数だけシールを貼って、言いながら拍打ちをします。慣れてきたら、2～3枚提示してどれを打ったか、答えさせます。役割交替をして、子どもたちに出題させます。 グッズ2: ある程度文字が読める子ども対象のカードです。 ・グッズ1と同じように遊びます。 ・音抜き遊びをします。帯でその音を隠して、(例えば「きつねの頭を抜くと『つね』」)遊びます。「頭」「おしり」「おなか」と抜いていきます。 ※いずれも慣れてきたら、ことばだけで遊びます。	国語	支援部

5	どんな気持ち？		〈ねらい〉 「気持ちを表す言葉」を低学年用と高学年用に分けて、一つの絵ごとに5種類提示し、選択肢の中から選んで説明することができるようにしました。この教材を見ながら、たくさんの気持ちを表すことばがあることに気づくことができると思います。 〈使用方法〉 低学年用・高学年用のどちらを使うか決め、気持ちを表すことば一覧を見せて、どんな言葉があるか、どのくらい知っているか考えさせましょう。次に絵を見て、様子を説明します。5つの選択肢の中から、どのことばがピッタリか、子どもたち一人一人に考えてもらいましょう。「どうしてそう思うか」考えて、説明できるよう準備を促しましょう。「お友だちにほめてもらって、うれしい気持ちだと思います」等、一つ目は教師が説明の仕方を例示して、発表を促しましょう。他の人の意見も聞いて、「そうだな」と思ったら、自分でもその気持ちを表すことばを使って、説明をしてみるよう二人組や班内で時間をとって、説明し合うようにしましょう。	国語	支援部
6	気持ちを表すことばかるた		〈ねらい〉 小学校4年生の光村の教科書巻末の「ことばの宝箱」に掲載されている「気持ちを表すことば」について、かるた遊びをしながら意味や文例を学びます。 〈使用方法〉 4, 5人に1組のかるたを渡し、最初に絵札の裏側に書いてある言葉を確認させます。「気持ちを表すことば一覧」のシートを全員に1枚ずつ渡しておきます。あとは、普通のかるたと同様に遊びます。どんな時にそのことばを使うかみんなて話ができるかと広がります。 〈成果〉 中学部や高等部の生徒にも使って、語彙を増やすことができます。	国語	支援部

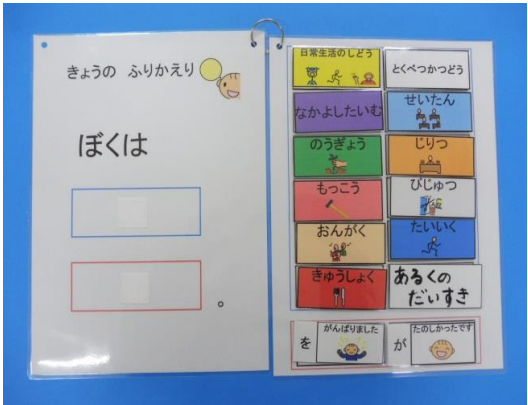
7	気持ちを表すこと ばすごろく		〈ねらい〉 小学校4年生の光村の教科書巻末の「ことばの宝箱」に掲載されている「気持ちを表すことば」について、すごろくをしながら意味や文例を学びます。 〈使用法〉 すごろく版をマスキングテープで机に貼ります。コマの画用紙に自分の名前を書いて、スタートの位置に載せます。ルールブックをみんなで読んで、ルールの確認をします。すごろく版の横に、ピンク、クリーム色、白の取り札を山にして置きます。さいころを振って出た数進めます。クリーム色で止まったら、クリーム色か白のどちらかを選んで、山から取ります。取り札を取っても、うまく答えられない時は、「手伝ってください」ということを教えましょう。手伝ってくれた友だちには「ありがとう」と言うよう促しましょう。 白の絵札の説明に正解はいくつもあるので、子どもの説明をよく聞いて、誉めたり解説を足したりしてあげましょう。先にゴールした人には、みんなで拍手をして、残った人がゴールするまで続けます。	国語	支援部
8	どうぶつさんがいくつ？①②③		〈ねらい〉 2から10までの集合数を、段階を追って数えることができるようにすることがねらいです。 〈使用方法〉 「どうぶつさんがいくつ？①」は、2から3の動物を数えて、数字カードを貼っていきます。3までの階段をクリアしたら、「どうぶつさんがいくつ？②」に進みます。②は、2から5までの動物を数えます。最後に、「どうぶつさんがいくつ？③」に進みます。③は、2から10までの動物の数です。つまり、3と5を通過ポイントにしています。	算数・数学	小学部

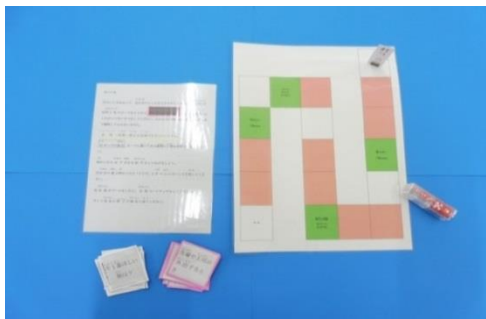
9	10をつくろう		〈ねらい〉 繰り上がりや繰り下がりのある計算につなげるために、10の合成、分解の理解をねらっています。 〈使用方法〉 丸が10個になるようにピンクの丸カードを貼り、青をピンクの丸が、いくつといくつになるか、数字カードを選択して表します。初めは、丸の数を数えますが、次第に、数えなくても数字カードを選ぶようにしていきます。	算数・数学	小学部
10	あわせていくつ？		〈ねらい〉 10までの足し算の練習をするための教材です。 〈使用方法〉 四角のところに数字を入れ、その下の袋の部分に数字と同じ数のアメを貼り、数をかぞえます。足し算を始めたばかりの児童が、原理を理解したり、問題を解く補助教材として使ったり、「○は△と□に分けられる」という数の分解の補助教材として使ったりすることができます。	算数・数学	小学部
11	何番目シリーズ		〈ねらい〉 「左から」、「右から」、「上から」、「下から」、「前から」、「後ろから」…。複雑な位置概念を学習することができます。 〈使用方法〉 人形や札、絵カードなどを実際に動かしながら学習します。「○○は、どこでしょう？」などクイズにしても楽しいです。	算数・数学	小学部

12	位置を表す言葉を知ろう！		〈ねらい〉 日常にあふれる「〇〇の上」「△△の下」「□□の中」「☆☆の右」「##の左」などの言葉を、学習することができます。 〈使用方法〉 人形を動かして、位置を表す言葉を学習します。平面(赤い枠)→立体(赤い箱)→「右に花、左に太陽」など少しずつレベルアップしていくとより、日常生活で役立ちます。子どもと大人、お題を出し合いゲームすると盛り上がり、楽しみながら学習できます。	算数・数学	小学部
13	10の束を作ろう		〈ねらい〉 10までの量の定着と大きな数字を読めるようにします。 〈使用方法〉 じゃばら折りを使って1本ずつストローを数え、10本になったらゴムで束ねます。初めは同じ所に2本入ったり、1本少なかったりしましたが練習を重ねていくと間違えずに数えられるようになってきました。ゴムで束ねる動作も上手になりました。	算数・数学	中学部
14	算数個別指導用ワークシート		〈ねらい〉 学習全般に苦手意識のある生徒に対して好きなキャラクターを使った算数のワークシートでスムーズに学習に取り掛かることができます。 〈使用方法・成果等〉 キャラクターを数えて足し算をします。「あわせて」「ぜんぶで」「みんなで」など足し算で使う言葉も合わせて提示し声を出して、読んだり、数えたりして10までの足し算をします。 学習にすぐに取り掛かれるようになりました。はじめは2枚が精一杯でしたが、最近では4枚できるようになりました。	算数・数学	中学部

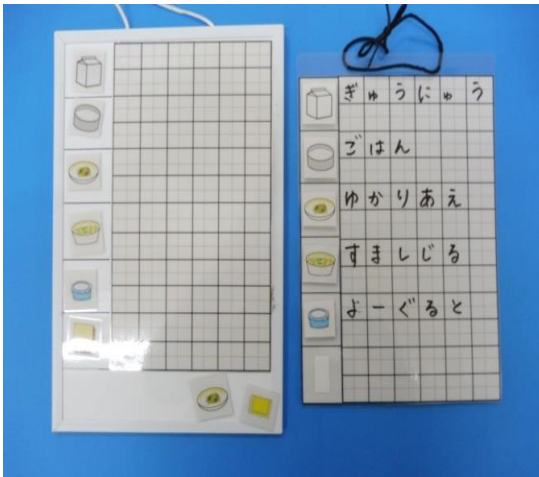
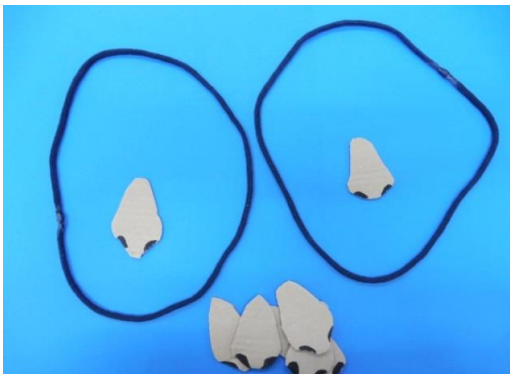
15	算数教材(パソコン[たし算・かけ算他]・絵カード・数図ブロック)		〈ねらい〉 算数(数学)の学習において、かけ算やたし算を日常生活の場面で活用することができる力を身につけることが目的です。 〈使用方法〉 パソコン教材で問題場面を視覚的に分かりやすく提示し、絵カードやブロックを生徒(児童)が自分で並べたり、数えたりすることで数の概念を養います。 たし算の学習の振り返りの学習プリントでは、 ①頭の中で計算する。 ②ブロックを使う。 ③数字の上に丸を描いて数える。という3通りの方法を生徒が選んで活用し、全員問題を解くことができました。かけ算の問題を読んだ後、正しく立式をして解答することができ、日常の生活場面でもかけ算を使って、数を確かめるようになった生徒がいます。	算数・数学	中学部
16	数の学習		〈ねらい〉 1～10までの数量と数字が一致することをねらいとしています。 〈使用方法〉 フィルムケースの上につけているシールに記されている数のビーズをケースに入れます。 〈成果〉 楽しく数の学習をすることができていました。	算数・数学	高等部

17	手形付雑巾		〈ねらい〉 手全体で雑巾に力を入れる感覚を養い、雑巾がけの際、雑巾が丸まってしまうようにします。 〈使用方法〉 雑巾に縫いつけられた軍手に手を入れ雑巾がけをします。	日常生活の指導	小学部
18	そうじ名人カード		〈ねらい〉 そうじ授業の意欲付けのために作りました。 〈使用方法〉 掃除をした後、そうじ名人、ほうき名人、ぞうきん名人を決めます。	日常生活の指導	小学部
19	おしぼり練習棒		〈ねらい〉 おしぼりをしっかり絞ることができるようになることを目的に作りました。 〈使用方法〉 タオルの中に、棒を仕込んであるので、おしぼりを両手で握って絞る動きが正しくできるようになっています。この練習棒を使って、給食時間前におしぼりを用意することがはやくできるようになりました。	日常生活の指導	小学部

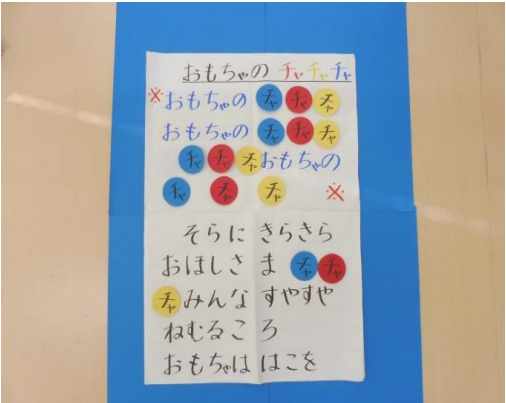
20	振り返りシート		〈ねらい〉 発語をしたり、文章を構成したりすることが困難な生徒が、帰りの会で「今日の振り返り」を発表できるようにします。 〈使用法〉 カードの中から自分が「がんばった」「楽しかった」と思う教科カードを選び、シートに貼ります。シートを読みながら発表したり、クラスの人々に見せたりします。 〈成果〉 自分の気持ちを文章で発表できるようになりました。発語は困難であっても、カードを使って自分の気持ちを他者に伝えることができるようになりました。	日常生活の指導	中学部
21	わたしの一週間		〈ねらい〉 教師とともに作成した季節の行事に合わせた切り絵を貼り作品にしました。自分の作品にホワイトボードマーカーで予定を記入することで見通しを持たせます。 〈工夫したところ・成果〉 ・生徒の興味がわくモチーフにしました。 ・切り絵の達成感を味わい掲示することで評価を得て喜んでいました。	日常生活の指導	高等部

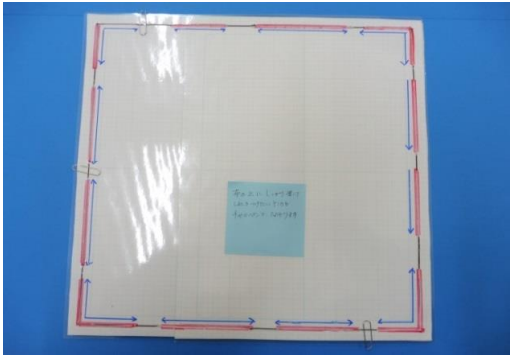
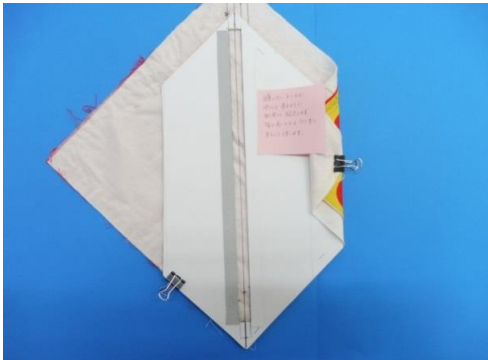
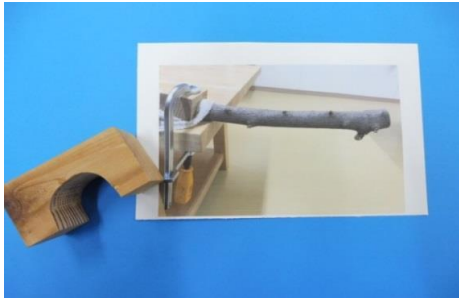
22	キップを買おう		〈ねらい〉 JRの発券機のお金の投入場所や、280円のボタン、キップの受け取り場所がわかります。校外学習でJRを利用する際に、キップを一人で買えるようになることを目的に作成しました。 〈使用方法〉 ①お金の投入口に、お金を落とさないように入れる。 ②280円のボタンを押す。 ③教師が後ろから出した、キップを受け取る。 ※繰り返し練習したことで、全員スムーズにキップの購入ができました。Iコースの生徒も少ない支援で買うことができました。	日常生活の指導	高等部
23	目指せあいさつ名人(すごろく)		〈ねらい〉 すごろくを通してあいさつできるようになることを目的に全員でゴールを目指します。 〈使用方法・成果〉 ピンクのマスはピンクのカード、白のマスは白のカードを、緑のマスはマスの中に書いてある指示に沿って活動をします。楽しみつつも、様々な状況を考えながらあいさつすることができたことが成果です。	日常生活の指導	高等部
24	修学旅行時の視覚支援カード(小6)		〈ねらい〉 スケジュールの見通しがつきにくい児童に対して次の活動を知らせる視覚支援カードです。持ち運びしやすいサイズにしています。(ラベルマイティーで作成)また、自由時間にも本児の好きな物のカードを見てすごせるようにしたものです。 〈使用方法〉 教師のポケットに入れていつでも使用できるようにしました。次の活動を視覚的に見せることで不安を軽減することができ、自由時間もイライラすることなく過ごすことができました。	日常生活の指導	小学部

25	ピザパンちゃん		〈ねらい〉 「夏野菜ピザを作ろう」「ピザパーティーをしよう（秋野菜ピザ）」の学習の動機付けや意欲の向上をねらって作りました。 〈使用方法〉 ・ピザの具をTシャツに配置しています。マジックテープで取りはずし可能なので、子どもたちがはがして遊ぶこともできます。 ・夏野菜の学習からの発展で秋野菜の学習に取り組んでいます。具を貼りかえることができ、野菜が変わったことに子どもたちが気付くきっかけにもなりました。	生活単元学習	小学部
26	買い物学習		〈ねらい〉 収穫祭やその他、校外で買い物する時の練習に使います。 〈成果〉 生徒が積極的に授業に参加し、色々な品物があるので、楽しみにしている様子が見られました。	生活単元学習	中学部

27	みんなに伝えよう！今日の献立！		〈ねらい〉 「献立係」として、イラストや文章を使い、今日のこんだてをクラスみんなに伝えるための教材です。ひらがなを書いたり、読んだりする練習をします。 〈使用法〉 イラスト献立と、教師が準備した手本を見ながら、献立カードをホワイトボードに、その横に献立をひらがなで書きます。ボードを見ながら、朝の会で発表します。 〈成果〉 自分で作成した献立表を読んだり、見せたりすることで、クラスみんなに、今日の献立が伝わるようになってきています。よく書く献立は(ごはん・ぎょうにゅうなど)、綺麗な字でかけるようになりました。	特別活動	中学部
28	視力検査(紙芝居)		〈ねらい〉 ランドルト鏡での視力検査を紙芝居にすることによって、興味や関心を持たせました。 〈使用方法〉 健康診断の事前指導で使用しました。視力検査の手順や、見通しを持たせることができました。	特別活動(健康診断 視力検査)	7学年
29	大きく顔を描こう		〈ねらい〉 顔の形を描くことが難しい子どもに顔の形やプロポーションを意識しながら描けるようにします。 〈使用方法〉 画用紙にひもを使って、顔の輪郭線の形を作ります(細い顔？丸い顔？)。ひもをマスキングテープでとめます。その真ん中に段ボールの鼻を貼ります(鼻の形もいろいろ用意)。それをベースに、顔を着色して目、口などを描いていきます。ひもの輪郭線ははずして髪の毛を描いていきます。鼻はそのまま段ボールをいかしてもよいし、はがしても描いてもよいです。学年みんなで自画像を描きました。	美術	中学部

30	絵画鑑賞教材(春夏秋冬編)		〈ねらい〉 東西の名画を親しみながら、グループで絵画が表現している季節について話し合います。 〈使用方法〉 ・4つの絵画から感じる季節について、「はる」「なつ」「あき」「ふゆ」のカードをおいていきながら、グループで意見を出し合います。話し合ってから季節ごとに分類していくことで、絵画の見方が深まるようにと考えました。 ・春(モネ-果樹園の春)、夏(歌川広重-両国花火)、秋(ジョン・エヴァレット・ミレー-秋の落ち葉)、冬(歌川広重-蒲原 夜之雪)	美術	中学部
31	ラジオ体操・入場行進DVD		〈ねらい〉 モデルとして提示し、動きなどの見通しを持たせます。ラジオ体操、入場行進が体育大会演技種目になったことにより、力をいれました。 〈使用方法〉 体育や自立活動の時間に使って下さい。体育大会では、一昨年より、ラジオ体操、入場行進共に良くなりました。	保健体育	体育科
32	アキレスケンタウルス変身グッズ		〈ねらい〉 授業の導入時に子どもの興味・関心を持たせ、模範しやすいように促します。 〈使用方法〉 場の設定を行い、ケンタウルスになりきって、アキレスケンタウルス体操を行います。	保健体育	小学部

33	ラジオ体操(視覚支援)		〈ねらい〉 体育の学習や体育大会のために、ラジオ体操の一つ一つの動きを図解にして表しました。動きを理解するのを促します。 〈使用方法〉 ・ラジオ体操で、一つ一つの動きを確認するときに使います。 ・一つの動きをピックアップして行うときの視覚提示にしたり、全体に流れを示して、見通しをもたたりするのに使いました。	保健体育	小学部
34	音楽で楽しく頭の体操		〈ねらい〉 手たたきの自分のパートの理解を促します。タイミングよくリズムをとって、歌いながらゲーム感覚で手拍子を楽しみます。 〈使用方法〉 「おもちゃのチャチャチャ」の”チャチャチャ”の歌詞の部分を1つ1つ色分けし、グループに分かれて自分の色の部分だけ手をたたきます。マジックテープで”チャチャチャ”の部分だけ取り外せるようになっているので、グループのたたく順番を変えることができます。色を変えてたたく順番を変えて何度か練習すると、手拍子をする反応がよくなりました。	音楽	中学部
35	ピアノえほん 階名譜		〈ねらい〉 教科書として購入しているピアノ絵本を活用するために、色を手掛かりにできる楽譜等を作りました。 〈使用方法〉 (1)24時間テレビやCMなどで、生徒がよく知っている曲を歌って覚えます。 (2)ピアノえほんを使って練習します。 ①紙鍵盤や階名カードで、鍵盤の場所や階名を覚えます。 ②階名譜を使って練習します。(鍵盤の色と階名の色が同じ) ③ピアノえほんからキーボードに移行します。	音楽	中学部

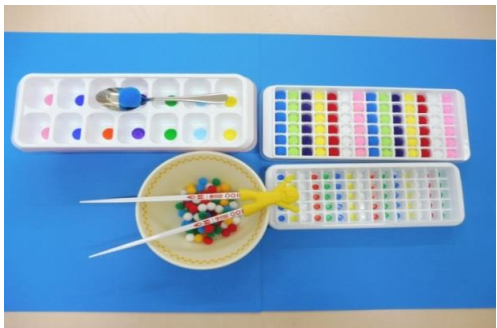
36	しるしつけ用具		〈ねらい〉 ミシン縫いなどをするときにめじるしとなる印をつける用具です。 〈使用方法〉 これは正方形のふきん用に作ってあります。切り口をチャコペンでなぞれば必要な印をつけることができます。定規の端に合わせて線を引くのが苦手な子も簡単に線を引けます。「端に合わせて線を引く」という感覚を学習することもできると思います。	家庭	中学部
37	ミシン縫いの補助具		〈ねらい〉 手元が安定しない注視がむずかしい、布を押さえる手に力が入りすぎるなど、一人でミシンを操作して直線縫いをするのがむずかしい生徒用に作った補助教材です。 〈使用方法〉 ミシンの押さえの幅に合わせレールを作っているため、中心部分にしるしが来るように布を固定することで少ない支援で直線縫いができます。	家庭	中学部
38	丸太固定補助具		〈ねらい〉 丸太など器具だけでは固定できない木材を固定する為の補助器具です。 〈使用方法〉 丸太に布をかぶせて、すき間ができないようにしてから固定補助器具をつけ、クランプで締めることで、しっかりと固定でき、丸太を切断しやすくなります。	作業学習	中学部

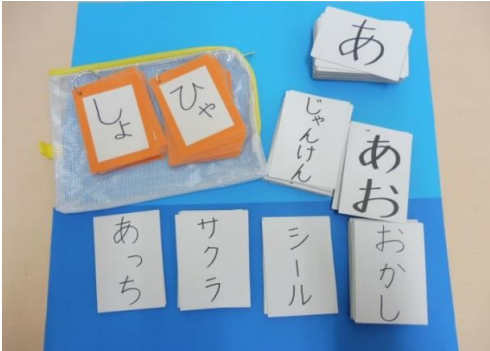
39	僕ノート		〈ねらい〉 行動の統制を図るため、4コマ漫画のようなソーシャルストーリーを作りました。 〈使用方法〉 ・自分の行動の教科書のように使います。どちらの行動が正しいか、自分で考えることができるように、あえて○×の表示はしていません。 ・行動を見直すための材料として使うのではなく、(悪い行動の時には提示しません)どうしたらうまく行動出来るのか、活動の事前に見るようにしています。 ・暇な時間に進んでノートを開き、絵本のように楽しんで読むようになり、正しい行動、言葉が身についてきています。	自立活動	小学部
40	きせかえごっこでお話しよう		〈ねらい〉 援助依頼をする時に、名前を呼んで話しかけたり、適切な言葉で「だれに」「なにを」「どうしてほしいのか」をきちんと伝えたり、お礼を言ったりできるようにします。 〈使用方法〉 児童の好きなキャラクター6人のきせかえのパーツを8種類ずつ準備し、楽しんできせかえができるようにしました。色分けをした枠に言葉を当てはめて話すことができるお話ボードを見て、「だれに」「どのキャラクターの」「どの種類の」「どのパーツを」「どうしたいのか」など、詳しく伝えるようにします。パーツをもらったら「ありがとうございます。」とお礼を言う練習もします。活動に慣れてきたら、お話ボードは見ずに伝えられるようにします。日常生活の中でも、きちんと名前を呼んで話しかけ、具体的にどうしてほしいのかを適切に伝えられるようにし、お礼も言う習慣も身につけたいです。	自立活動	小学部

41	ボタン留め		〈ねらい〉 ボタンの留めはずしの練習をします。 〈工夫点〉 ・児童が楽しんで取り組めるようにあおむしや魚釣りの形にしました。 ・1から順に数えながらできるように数字を付けました。 〈成果等〉 ・楽しくボタンの留めはずしの練習に取り組めました。 ・ボタンをはずすことが苦手だった児童が、給食のエプロンなどのボタンを自分で留めたりはずしたりできるようになりました。	自立活動	小学部
42	おくちのたいそう		〈ねらい〉 発音の不明瞭な子どもの指導、個別にしっかり口の形や舌の動きを意識させる際に使用します。 〈使用方法〉 「うがいのあ～♪はみがきのい～♪」と適当なメロディやリズムをつけて楽しく学習します。集団学習や個別学習の場面で使用します。特に個別にしっかり口の形や舌の動きを意識させるときは、置き鏡で確認しながら教師と一緒に練習するとよいです。自立活動の時間だけでなく朝の会や朝の学習などのちょっとした時間に、繰り返し行うことで少しずつ発音がよくなります。	自立活動	小学部
43	ゆらゆらプットイン		〈ねらい〉 個別の学習で活用しています。目と手の協応を高める学習に使います。 〈使用方法〉 ・上の穴からビー玉を入れる動作を繰り返し行います。ビー玉を入れると、キリンの首としっぽが揺れて、楽しくプットインの学習をすることができます。 ・キリンが揺れると、笑顔になり、学習に楽しく取り組む姿が見られています。	自立活動	小学部

44	じかんわりまっちゃんぐ		〈ねらい〉 スケジュールに感心をもち始めた児童に対して、より一層、時間割を意識するようにし、スケジュール理解につなげるため、教室に掲示されている時間割カードを使ってマッチング学習をするようにしています。 〈使用方法〉 右のミニカードを左のカードの枠の中に貼る、という単純な方法です。初めは、左のカードの右に同じイラストのカードを貼って提示してしますが、入れ替えて提示することもできます。左のカードも入れ替えができます。	自立活動	小学部
45	ぴったんこあんぱんまん		〈ねらい〉 「つくろう あそぼう アンパンマン」の学習の中の、遊びの見本として作った教材です。 〈使用方法〉 ・二人組になって、絵合わせをすることができます。実際の学習では、一人が片方を持ち、もう一人がその絵を見て、かるたのように並べられた中から合う絵を探し出すようにしました。最後は、2人で絵を綺麗に合わせようとする姿が見られました。 ・一人でする場合には、絵合わせの学習として活用できます。	自立活動	小学部

46	すうじをねえ！ まとあてゲーム		〈ねらい〉 グループ自立で活用しました。対象物をよく見る力や目標に向けて投げる身体をコントロールする力を伸ばすことをねらいとしています。 〈使用方法〉 ・くじで引いた数字を確認し、シートの中でその数字が書いてあるところをねらってお手玉を投げる活動です。実際の学習では、数字にお手玉を当てることができたなら○というルールを取り入れました。また、1人につき5回ずつ行う中で、その○が多い児童が勝ちとなる競争できる状況を設定して行いました。 ・また、簡単なコミュニケーションとしてお手玉を次の人に渡す際に、「どうぞ」「ありがとう」を促し、ソーシャルスキルを高める目的でも活用しました。 ・数字を見て答えたり、個数を答えたりして数に親しむ姿が見られました。また、競争の中で相手を応援するなどの姿も見られました。	自立活動	小学部
47	なにができるかな？ ～マッチングをしよう～		〈ねらい〉 手指の巧緻性を高め、色や形のマッチングを促します。 〈使用方法〉 手指の牛乳パックとペットボトルで作ったガチャガチャです。ガチャガチャを回して、出たピンポン玉の色とケースをマッチングさせることができる課題です。ガチャガチャを回すことで、手の回転運動ができ、それによって玉が出るというしくみを楽しみながら学習することができます。中に入れる玉とケースを替えることで、様々なマッチング課題に取り組むことができます。どうぞ回してみてください。	自立活動	小学部

48	お買い物をしよう		〈ねらい〉 1対1対応で数を数える教材です。 〈使用方法〉 男の子・女の子の手元にお皿を置きます。そのお皿の星の数に合わせてイラストカードを貼り、数を数えます。初めはマッチングするのみ、次に数唱しながら貼るなど段階に応じて使用できます。また、指導者の話に合わせて操作をする学習もできます。 (例1)〇〇くんがケーキ屋さんに行きます。ケーキを〇個買います。 (例2)〇〇さんがやおや屋さんに、にんじん〇個、なす〇個買いに行きます。合わせて何個ですか。	自立活動	小学部
49	色分けパズル		〈ねらい〉 色や形のマッチングをパズルとして、楽しみながら行う課題です。 〈使用方法〉 台紙に描いてある、同じ色や形に合わせて貼り付けていくとパズルが完成します。	自立活動	小学部
50	色分け スプーンすくい、はしつかみ		〈ねらい〉 色のマッチングとスプーンですくう練習、箸で上手にものを掴む練習として使います。 〈使用方法〉 スプーンや箸を使って、カラーボールをすくったり、掴んだりして、同じ色の溝に入れていきます。	自立活動	小学部

51	マッチング枠		〈ねらい〉 マッチングをするときに、ラミネーターで補強されたカードを使用すると、カード同士を合わせる時に「すべってしまう」「合わせた感覚がない」ので「注目しにくい」課題がありました。そこで、台紙となるカードに枠をつけることで、見ないとカードが入らない環境をつくりました。 〈使用方法・成果等〉 枠と手持ちのカードをピッタリと合わせます。しっかり見ないと枠とカードをマッチングする事が出来ないのので、「見る力」がついたり、パチン！と枠にはまることで「達成感」がうまれました。	自立活動	小学部
52	ひらがな・カタカナのフラッシュカード		〈ねらい〉 ひらがなやカタカナを読める子どもに使用します。文をスラスラ読めない遂字読みになる子どもが2文字のまとまり、3字のまとまりをパッと見て語としてとらえることができるようになるための練習に使用します。 〈使用方法・成果等〉 教師がスピーディに1枚ずつ子どもに見せて子どもはどんどん書いてある字を声に出して読んでいきます。特殊音節を覚えるのにも使用します。	自立活動	中学部
53	手軽に作れる太鼓		〈ねらい〉 太鼓を叩くと落ち着く生徒のために、100均の材料で手軽にできる太鼓を生徒と一緒に作りしました。 〈使用方法〉 ・表面の布にボンドを塗っているので、あまり大きな音がせず、長時間教室で叩いても周りの生徒の邪魔になりません。 ・音楽絵本の曲に合わせて叩くなど、他の生徒と一緒に楽しむ道具としても役に立ちました。	自立活動	中学部

54	レッツフック！		<ねらい> しっかりと目を使いよく見て作業を行うことや、手とフック(対象物)との距離感を掴みます。 <使用方法・成果等> しっかりと指で挟んでリングを持ち、大きささまざまなフックに引っ掛けます。慣れてきたらホワイトボードに数字やマークを付け、指定した場所に引っ掛けたり、順番通りに引っ掛けたりします。	自立活動	中学部
55	パズル ハロウィンパーティーをしよう		<ねらい> 学級の友だちがお土産に買ってきてくれた菓子箱を再利用して作りました。みんな大好きなキャラクターです。経費がかかりません。 <使用方法> 通常のパズルと同様です。利用する子どもの実態に合わせてカットし、数を調整します。	自立活動	高等部
56	ひも結び練習		<ねらい> ひも結びの練習の教材です。SMAPが好きな生徒の手指の巧緻性を高める学習です。 <使用方法> 左右のひもの色をかえてむすび方が分かりやすいようにしました。中居くんから順番にひもを結んでいきます。	自立活動	高等部

57	なぞってみよう		〈ねらい〉 ひらがなのなぞり書きを練習するために作りました。 〈使用方法〉 市販のドリルを利用して、アルバムにはさみ、マーカーペンで繰り返し書けるようにしました。 (白黒のプリントと違い、カラーの状態ですずっと使えて、見やすいので)この教材によって学ぶというよりも、自習などで補完的に利用できると思います。また、中にはさむ課題(プリント)によって、いろいろなことに利用できます。	自立活動	高等部
58	絵合わせパズル		〈ねらい〉 手本の絵を見たり、下絵を敷いたりして積木を組み合わせることで、視覚空間認知の力を高めます。指先を使う練習もできます。 〈使用方法〉 6通りの絵柄ができる6面体の絵合わせパズルです。キャラクター2種、食べ物、色、数、しりとりと、階段を踏んだ構成になっています。パズルを組み合わせるときは、下絵を敷いて組み合わせたり、手本の絵を見て組み合わせたりと、実態にに応じていろいろな使い方ができます。	自立活動	支援部
59	がらがらぼとん		〈ねらい〉 手と目の協応を目的として作りました。片手だけでは入りにくく、両手の指先を使い入れるようになっています。 〈使用方法・成果等〉 ・両手を使い、小さな穴へプラスチックのチェーンを入れます。入れるときに「ガラガラ」と音がするので、楽しみながら行えます。 ・チェーンの大きさが2種類あるので、「大きい小さい」の指導にも役立ちます。 ・白色と黄色のチェーンを使っているので、色別へと発展させることもできます。 ・個人差はありますが、やり方を覚えると、一人で集中して行える課題です。	自立活動	支援部

60	もぐらたたき		〈ねらい〉 動体視力や反射神経を鍛え、目と手の協応動作の向上をめざします。 〈使用方法〉 もぐらの頭を教師が手に持ち、子どもの実態に合わせて穴からだして、ハンマーでたたくようにします。 〈成果〉 もぐらの動きを目で追い、ハンマーで叩く動きを楽しみながら行なうことができました。子どもに合わせて、もぐらの動きの速さや、もぐらを出す穴の範囲を教師が調節できるので、色々なレベルの子どもに対応することができました。	自立活動	支援部
61	だんボールフリスビー～かえる～		〈ねらい〉 ・スナップをきかせて、円盤を投げることで、手首の動きを高めます。 ・友達といくつか入ったか競い合う等のルールのある遊びを行います。 〈使用方法〉 ・レベルに応じて、投げる位置を変えたり、口の幅を変えたりして使用します。 ・かえるに食べ物をあげる等のストーリーを作っ て楽しくフリスビーを行います。 〈成果〉 楽しく活動しながら、技能や社会性を身につける ことができました。	自立活動	支援部

62	怒りのバロメーターとリラックス袋		〈ねらい〉 「怒っている」「イライラする」の気持ちを数値化して表し、今の自分の怒りの気持ちの状態を自覚できるようにする教材です。自己コントロールの力を身につけるのに役立ちます。リラクスの仕方を学びます。 〈使用法〉 パネルの後ろからリボンを引っ張って矢印を動かし、気持ちを数値化して表し、今の自分の気持ちの状態を自覚できるようにします。ゆっくり腹式呼吸で深呼吸を繰り返し、上手にできたら、リラックスした表情を描いたビニル袋を口元に当て、ゆっくり大きく呼吸を吐いて、袋の口をゴムで留めます。 〈成果〉 トレーニングを重ねて、少しずつ上手になっています。	自立活動	支援部
63	食事用台		〈ねらい〉 給食を食べる際、姿勢を正そうと机の高さを合わせましたが、児童が、前かがみになり、食べにくそうだったので、食事用台を使用し食器と食具との距離を近づける為に作成しました。 〈使用方法〉 食事用台の上にラバーを置きトレーをのせます。 〈成果〉 上半身が起きて、食事しやすくなりました。	自立活動	7学年

64	点つなぎ		〈ねらい〉 線の始点と終点を結ぶ力をつけることを目的に作りました。 〈使用方法〉 ・型をセットして始点から終点までペンで結びます。 ・型の置き方を変えることで向きや太さの違う線を作ることができます。	自立活動	高等部
65	斜面台（設計は療育センターリハ工 学技士 中村詩 子氏です）		〈ねらい〉 見え方や目と手の協応動作に課題がある幼児児童生徒に対し、机の角度を変えることで、学習や作業がしやすくなります。 〈使用法〉 幼児児童生徒が椅子に座って机についた状態で、机の上に傾斜台を載せ、対象児が見やすく、読んだり、書いたり、作業したりしやすい角度を探して設置します。前のホワイトボードにプリントや用紙をマグネットで貼り付けることができます。角度を変えることができます。 〈成果〉 安定した姿勢で学習ができ、しかも持ち運べるので、様々なシーンで子どもが意欲的に取り組むことができます。	自立活動（全ての教育活動で使います）	支援部

66	ポジポジクッション (設計は療育センターリハ工学技士 中村詩子氏です)		〈ねらい〉 姿勢が崩れやすかったり、長い時間の着席が難しかったりする幼児児童生徒に対し、座面マットと腰当てを使って正しい姿勢を作り保持できるようにします。幼児～小低までのSサイズと小中以上のMサイズがあります。 〈使用法〉 座面に滑り止めシートを敷き、お尻の後ろが下がりが太ももが上がる姿勢を作ります。椅子の背に腰当てをはめ、腰椎が起きる位置に固定し、ゴムベルトを留めます。座面マットを取り外して別の教室でも使えます。 〈成果〉 姿勢良く学習や作業、給食等ができています。	自立活動(全ての教育活動で使います)	支援部
67	ペアすごろく		〈ねらい〉 ペアで、すごろくを楽しみながら、目を合わせながら、心を合わせる掛け声をかけて取組むなど、ペアの友達とのやりとりの仕方を学びます。 〈使用方法〉 ・通常のすごろくと同様に遊びます。さいころの目は3つまでです。その数だけ進み、そこで、「お題ボックス」からお題を引きます。二人で協力して取組み、クリア出来たら、またひとつ進みます。ラッキーカードは2つ進みます。 ・中学部のグループ自立で使用したので、お題は、子どもの実態に応じて考えるといいと思います。 ・ペアで進むので、マスは2つあります。滑り止めシートを使って滑らないようにしています。	自立活動	支援部